

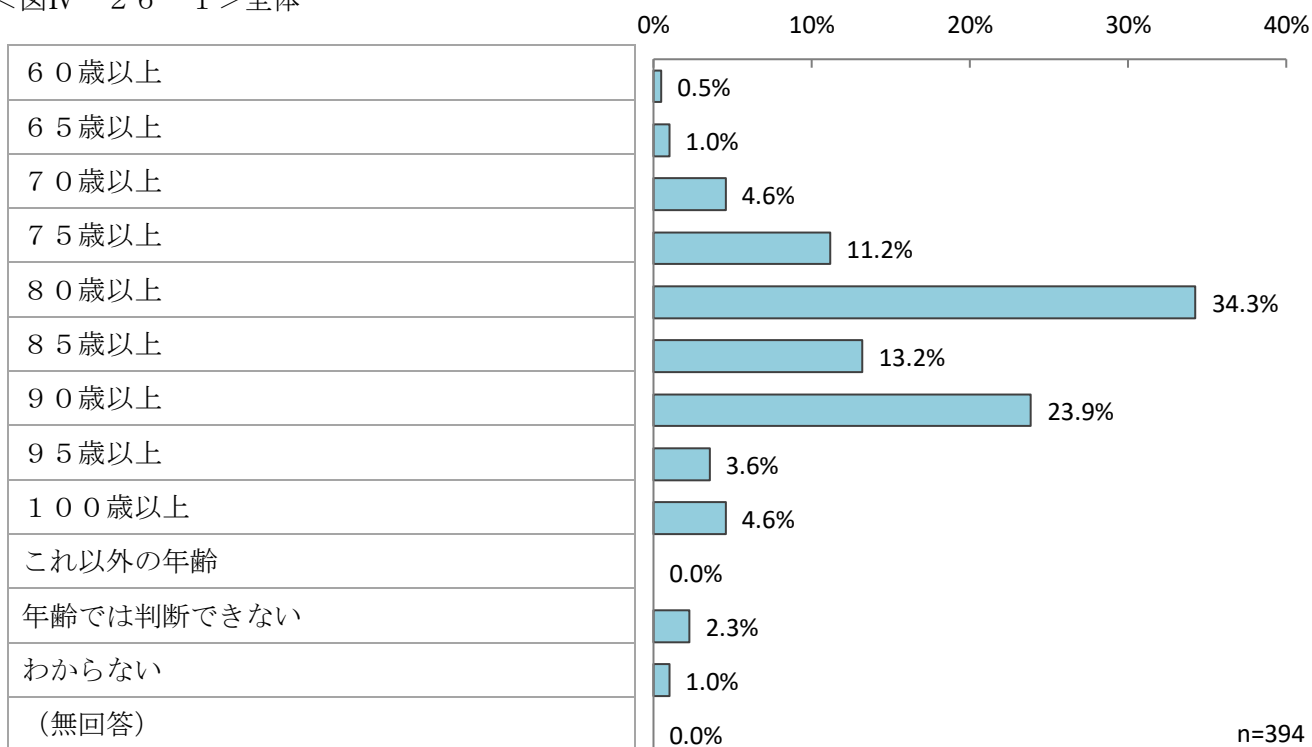
## 26. 敬老事業について

(1) 「長寿」にふさわしい年齢は何歳から

◇ 「80歳以上」が3割半ば

問96 「長寿」にふさわしい年齢は何歳からだと思いますか。		(○は1つ)
		n=394
1	60歳以上	0.5%
2	65歳以上	1.0%
3	70歳以上	4.6%
4	75歳以上	11.2%
5	80歳以上	34.3%
6	85歳以上	13.2%
7	90歳以上	23.9%
8	95歳以上	3.6%
9	100歳以上	4.6%
10	これ以外の年齢	0.0%
11	年齢では判断できない	2.3%
12	わからない	1.0%
	(無回答)	0.0%

<図IV-26-1>全体



---

「長寿」にふさわしい年齢は何歳からについては、「80歳以上」が34.3%で最も高く、「90歳以上」が23.9%と続いている。(図IV-26-1)

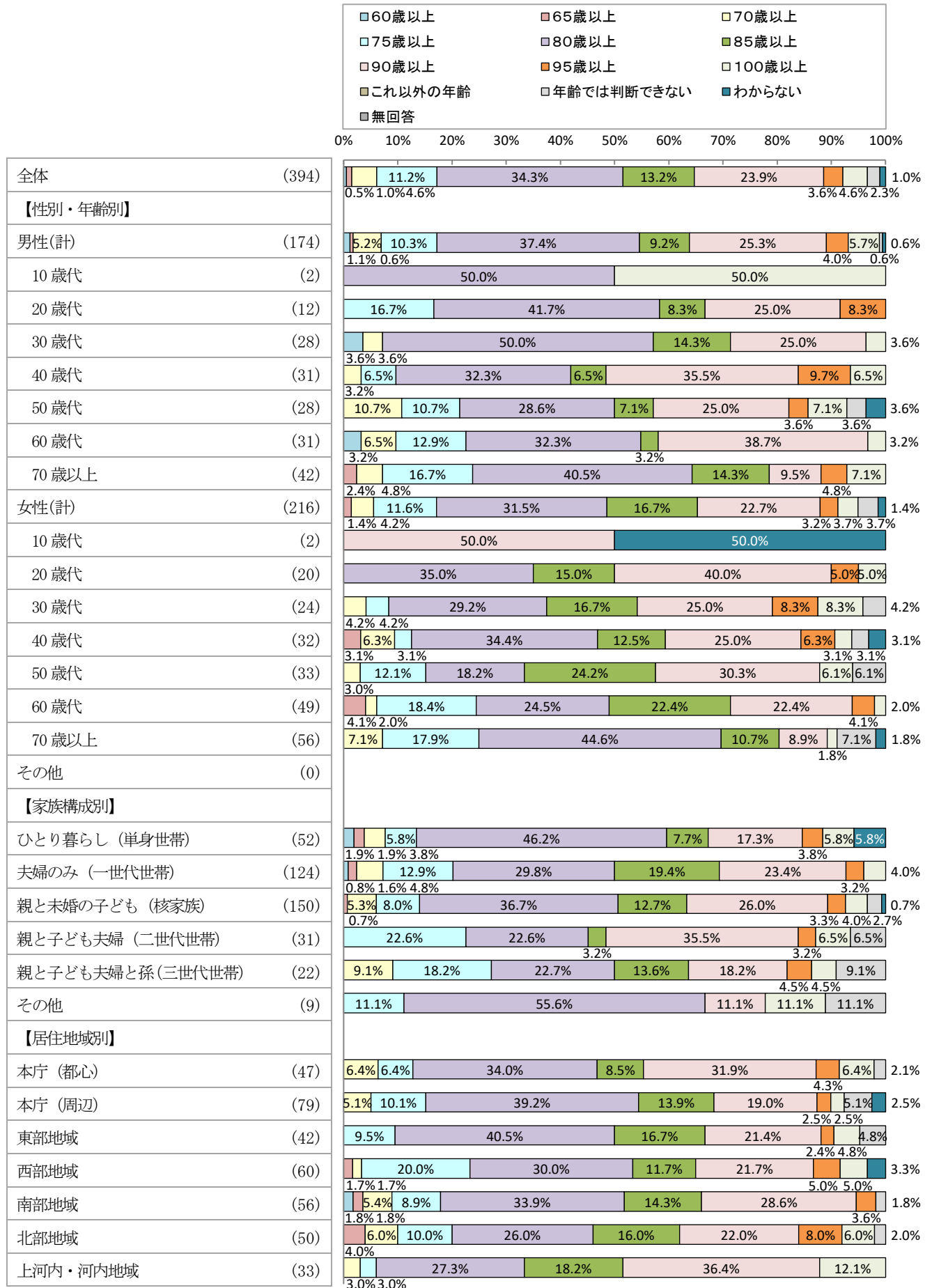
<参考>

性別・年齢別で見ると、「80歳以上」は<男性/10歳代>、<男性/30歳代>がいずれも50.0%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が44.6%と続いている。「90歳以上」は<女性/10歳代>が50.0%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が40.0%と続いている。(図IV-26-2)

家族構成別で見ると、「80歳以上」は<その他>を除くと<ひとり暮らし(単身世帯)>が46.2%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が36.7%と続いている。「90歳以上」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が35.5%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が26.0%と続いている。(図IV-26-2)

居住地域別で見ると、「80歳以上」は<東部地域>が40.5%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が39.2%と続いている。「90歳以上」は<上河内・河内地域>が36.4%で最も高く、<本庁(都心)>が31.9%と続いている。(図IV-26-2)

<図IV-26-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

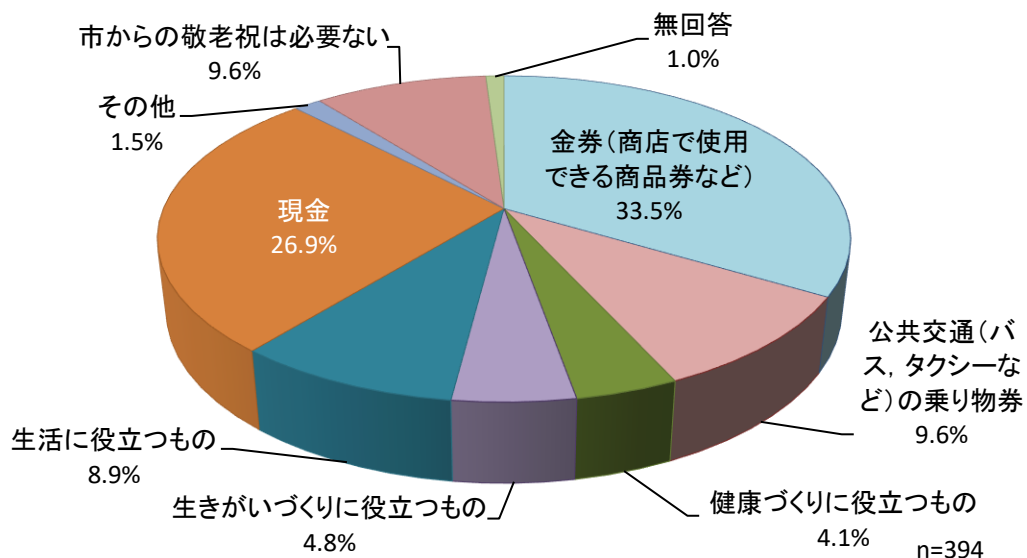


(2) 市からの敬老祝として望むもの

◇「金券（商店で使用できる商品券など）」が3割半ば

問97 市からの敬老祝として、どのようなものが望ましいと思いますか。		(○は1つ)
		n=394
1	金券（商店で使用できる商品券など）	33.5%
2	公共交通（バス、タクシーなど）の乗り物券	9.6%
3	健康づくりに役立つもの	4.1%
4	生きがいに役立つもの	4.8%
5	生活に役立つもの	8.9%
6	現金	26.9%
7	その他	1.5%
8	市からの敬老祝は必要ない	9.6%
	(無回答)	1.0%

<図IV-26-3>全体



市からの敬老祝として望むものについては、「金券（商店で使用できる商品券など）」が 33.5%で最も高く、次いで「現金」が 26.9%、「公共交通（バス、タクシーなど）の乗り物券」、「市からの敬老祝は必要ない」が 9.6%であった。(図IV-26-3)

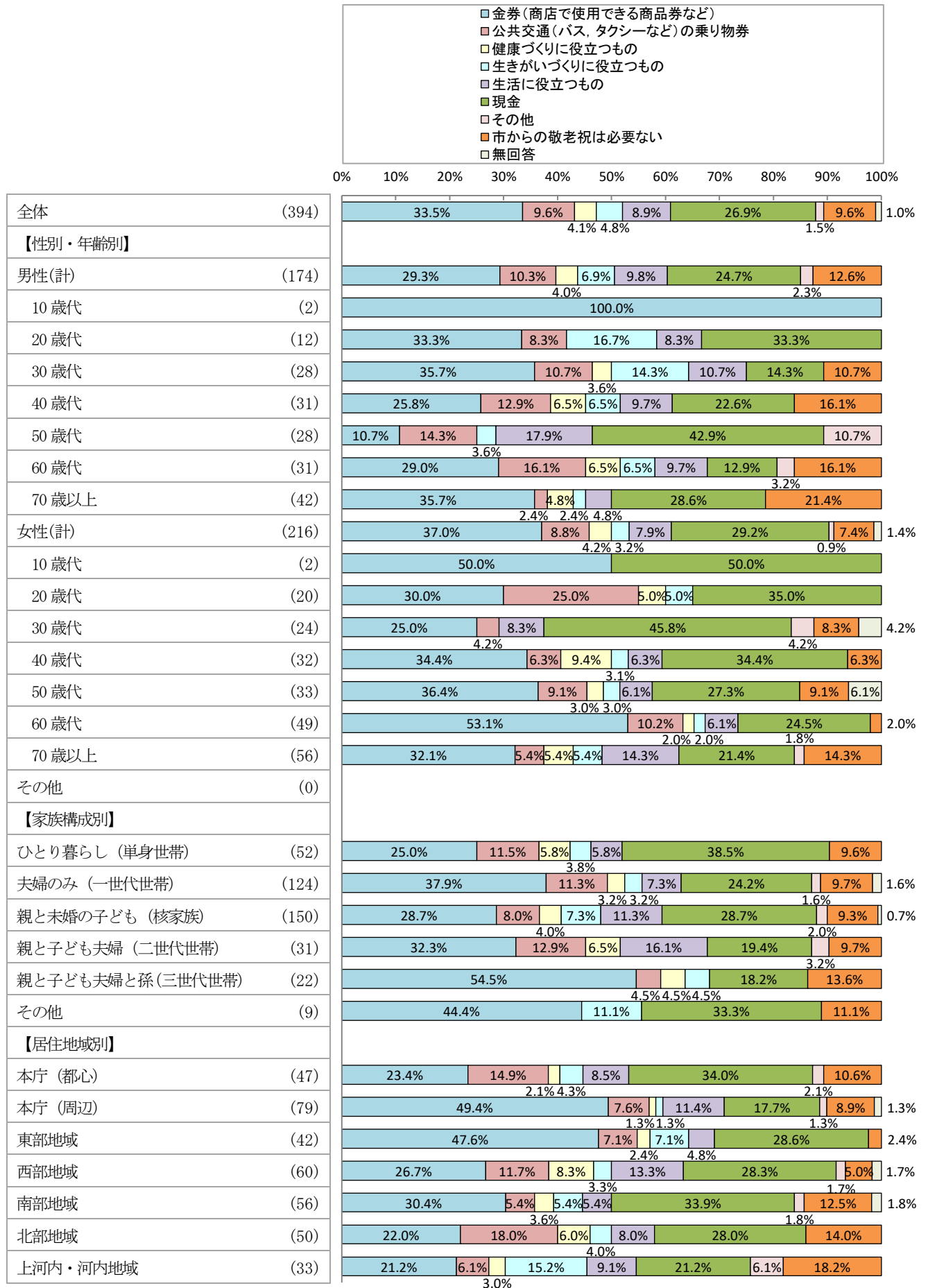
<参考>

性別・年齢別で見ると、「金券（商店で使用できる商品券など）」は<男性/10歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が 53.1%と続いている。「現金」は<女性/10歳代>が 50.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が 45.8%と続いている。(図IV-26-4)

家族構成別で見ると、「金券（商店で使用できる商品券など）」は<親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が 54.5%で最も高く、次いで<その他>を除くと<夫婦のみ（一世帯世帯）>が 37.9%と続いている。「現金」は<ひとり暮らし（単身世帯）>が 38.5%で最も高く、次いで<その他>を除くと<親と未婚の子ども（核家族）>が 28.7%と続いている。(図IV-26-4)

居住地域別で見ると、「金券（商店で使用できる商品券など）」は<本庁（周辺）>が 49.4%で最も高く、次いで<東部地域>が 47.6%と続いている。「現金」は<本庁（都心）>が 34.0%で最も高く、<南部地域>が 33.9%と続いている。(図IV-26-4)

<図IV-26-4>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

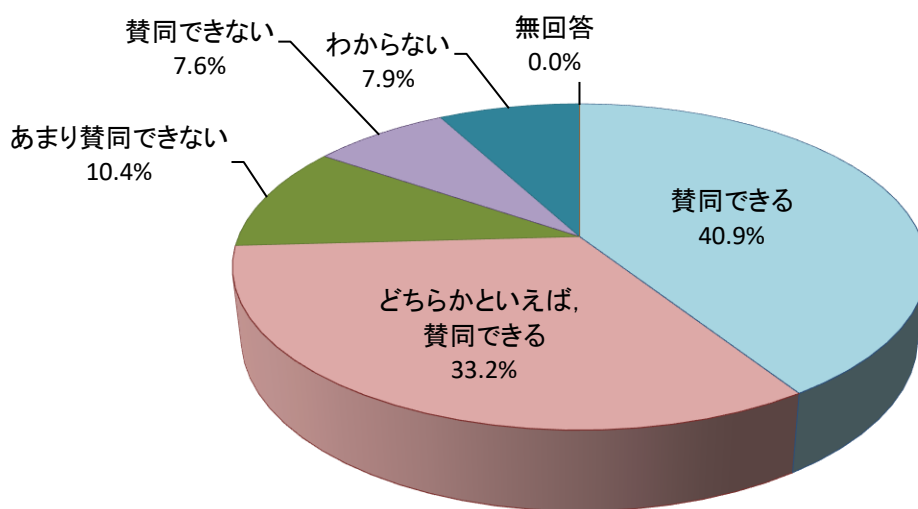


(3) 敬老祝金の贈呈制度のかわりに福祉サービスを充実する考え

◇ 「賛同できる」と「どちらかといえば、賛同できる」を合わせた【賛同できる(計)】が7割半ば

問98	現在、宇都宮市では、満80歳、90歳、100歳の高齢者に敬老祝金を贈呈していますが、高齢化が進行していることや平均寿命が延びていることに対応して、この制度を見直して、そのかわりに「高齢者が安心して暮らせる」ための福祉サービスの充実に力を入れていくという考え方があります。この考え方について、あなたはどのように考えますか。(○は1つ)	n=394
1	賛同できる	40.9%
2	どちらかといえば、賛同できる	33.2%
3	あまり賛同できない	10.4%
4	賛同できない	7.6%
5	わからない	7.9%
	(無回答)	0.0%

<図IV-26-5>全体



n=394

敬老祝金の贈呈制度のかわりに福祉サービスを充実する考え方については、「賛同できる」が40.9%、「どちらかといえば、賛同できる」が33.2%で、これらを合わせた【賛同できる(計)】が74.1%であった。一方、「あまり賛同できない」10.4%、「賛同できない」7.6%で、これらを合わせた【賛同できない(計)】は18.0%であった。(図IV-26-5)

<参考>

性別・年齢別で見ると、【賛同できる(計)】は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が91.7%と続いている。一方、【賛同できない(計)】は<男性/10歳代>が50.0%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が32.2%と続いている。(図IV-26-6)

家族構成別で見ると、【賛同できる(計)】は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が86.4%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が77.5%と続いている。一方、【賛同できない(計)】は<その他>を除くと<ひとり暮らし(単身世帯)>が21.1%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世帯世帯)>が18.6%と続いている。(図IV-26-6)

居住地域別で見ると、【賛同できる(計)】は<本庁(周辺)>が81.0%で最も高く、次いで<南部地域>が76.8%と続いている。一方、【賛同できない(計)】は<本庁(都心)>が25.5%で最も高く、<上河内・河内地域>が24.3%と続いている。(図IV-26-6)

<図IV-26-6>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

